



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 本州化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4115 URL <http://www.honshuchemical.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福山 裕二
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 和田 和興 (TEL) 03-3272-1481
 四半期報告書提出予定日 2020年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,516	6.3	1,249	72.5	1,239	77.4	823	97.1
2020年3月期第1四半期	5,190	△4.8	724	△34.8	698	△37.2	417	△44.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,005百万円(126.5%) 2020年3月期第1四半期 444百万円(△42.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	71.76	—
2020年3月期第1四半期	36.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	30,653	21,984	65.7
2020年3月期	29,629	21,480	65.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 20,128百万円 2020年3月期 19,488百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	12.00	—	20.00	32.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	12.00	—	20.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	△6.0	2,500	△17.1	2,400	△19.5	1,350	△22.2	117.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

本業績予想には現状において新型コロナウイルス感染症の影響を加味しております。
 なお、修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付書類4ページ(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期1Q	11,500,000株	2020年3月期	11,500,000株
2021年3月期1Q	23,106株	2020年3月期	23,106株
2021年3月期1Q	11,476,894株	2020年3月期1Q	11,476,894株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する事項は、本資料発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、内部外部需要とも大きく下振れ、雇用者数が減少するなど急速に悪化し、厳しい状況が継続しました。

当社グループを取り巻く事業環境は、新型コロナウイルス感染症の影響がありましたが、ビタミンE向けクレゾール誘導品、光学レンズ材料等は堅調な需要が継続し、電子材料は前倒しを含む需要の増加が見られました。加えて、原油市況の下落に伴い原材料価格が大幅に低下しました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は5,516百万円(前年同四半期比6.3%増)、営業利益は1,249百万円(同72.5%増)、経常利益は1,239百万円(同77.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は823百万円(同97.1%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較につきましては、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

詳細につきましては、(セグメント情報等)に記載のとおりであります。

<化学品>

・ビフェノール

ビフェノールは、パソコン、スマートフォンやデジタル家電等の情報通信機器の電子部品に用いられる液晶ポリマー(LCP)や医療、航空機分野等で使用されるポリフェニルスルホン(PPSU)の原料として使用されております。

当第1四半期連結累計期間においては、国内LCP向けは堅調でしたが、海外向け販売が新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、売上高は前年同四半期を下回りました。

・クレゾール誘導品

クレゾール誘導品は、家畜用飼料の添加剤に使用されるビタミンEの原料や電子材料及び酸化防止剤等の原料として使用されております。

当第1四半期連結累計期間においては、酸化防止剤向け販売が新型コロナウイルス感染症影響で減少しましたが、ビタミンE向けが需要堅調・市況上昇で、売上高は前年同四半期を上回りました。

この結果、化学品セグメントについては、売上高は2,401百万円(前年同四半期比1.4%減)、総売上高に占める割合は43.5%となり、セグメント利益は原材料市況の大幅な下落等の影響により、652百万円(同102.6%増)となりました。

<機能材料>

・電子材料

当社の電子材料は、半導体及びフラットパネルディスプレイ(液晶・有機ELディスプレイ)等の製造過程で使用されております。

当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響による社会のデジタル化加速や、先行き不安等による需要前倒しがあったとみられ、売上高は前年同四半期を大幅に上回りました。

・光学材料用途特殊ビスフェノール

特殊ビスフェノールを原料とした樹脂は、耐熱性、光学特性に優れているため、特殊ポリカーボネート樹脂(光学・電子部品用途向け)の原料として使用されております。

当第1四半期連結累計期間においては、堅調な需要を受けて売上高は前年同四半期を上回りました。

この結果、機能材料セグメントの売上高は、1,464百万円(前年同四半期比68.9%増)、総売上高に占める割合は26.5%となり、セグメント利益は285百万円(同74.2%増)となりました。

<工業材料>

・特殊ビスフェノール

特殊ビスフェノールは様々な用途に使用されており、主なものに成形材や自動車部品用途向けポリカーボネート原料があります。

当第1四半期連結累計期間においては、成形材用途において需要が堅調に伸びた製品もありましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により自動車部品用途の需要が落ち込み、売上高は前年同四半期を下回りました。

・受託品

受託品の売上高は前年同四半期を若干上回りました。

この結果、工業材料セグメントの売上高は、1,549百万円(前年同四半期比12.1%減)、総売上高に占める割合は28.1%となり、セグメント利益は516百万円(同12.8%増)となりました。

<その他>

販売用役等のその他セグメントの売上高は100百万円(前年同四半期比19.2%減)、総売上高に占める割合は1.8%となり、セグメント利益は6百万円(同52.7%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は30,653百万円となり、前年度末に比べ1,023百万円増加しました。これは流動資産が、現金及び預金の増加(1,366百万円)、売掛金の減少(287百万円)等により、前年度末に比べ1,275百万円増加し、20,902百万円となったこと、また固定資産が、機械装置及び運搬具の減少(244百万円)等により、前年度末に比べ251百万円減少し、9,750百万円となったことによります。

負債は8,668百万円となり、前年度末に比べ519百万円増加しました。これは流動負債が、買掛金の増加(249百万円)、未払費用の増加(252百万円)等により、前年度末に比べ527百万円増加し、5,720百万円となったこと、また固定負債が前年度末に比べ7百万円減少し、2,948百万円となったことによります。

純資産は、21,984百万円となり、前年度末に比べ503百万円増加しました。これは利益剰余金の増加(594百万円)等によります。

この結果、自己資本比率は65.7%と前年度末に比べ0.1ポイントの減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月14日に公表いたしました業績見通しの数字については、現時点では変更ありません。

現時点において、当社グループの事業活動における新型コロナウイルス感染症の影響は限定的であります。今後同感染症が各国の経済動向や、当社グループの事業活動に与える影響等につきましては、引き続き注視を続けてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,530	9,896
売掛金	6,154	5,867
商品及び製品	3,402	3,658
仕掛品	365	293
原材料及び貯蔵品	1,082	1,062
その他	90	124
流動資産合計	19,626	20,902
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	5,792	5,548
その他(純額)	3,290	3,293
有形固定資産合計	9,082	8,841
無形固定資産	36	34
投資その他の資産	883	875
固定資産合計	10,002	9,750
資産合計	29,629	30,653
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,174	2,423
短期借入金	1,000	1,000
未払費用	389	641
未払法人税等	407	360
役員賞与引当金	37	7
設備関係未払金	339	231
その他	844	1,054
流動負債合計	5,192	5,720
固定負債		
退職給付に係る負債	2,188	2,202
その他	766	746
固定負債合計	2,955	2,948
負債合計	8,148	8,668

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500	1,500
資本剰余金	1,013	1,013
利益剰余金	17,139	17,733
自己株式	△14	△14
株主資本合計	19,638	20,232
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△89	△54
退職給付に係る調整累計額	△60	△49
その他の包括利益累計額合計	△150	△104
非支配株主持分	1,991	1,856
純資産合計	21,480	21,984
負債純資産合計	29,629	30,653

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	5,190	5,516
売上原価	3,904	3,716
売上総利益	1,285	1,799
販売費及び一般管理費	561	549
営業利益	724	1,249
営業外収益		
受取利息	0	—
受取配当金	3	10
受取保険金	—	5
スクラップ売却益	1	0
その他	0	0
営業外収益合計	4	15
営業外費用		
支払利息	9	8
撤去費用	19	11
その他	1	6
営業外費用合計	30	26
経常利益	698	1,239
税金等調整前四半期純利益	698	1,239
法人税等	166	304
四半期純利益	532	934
非支配株主に帰属する四半期純利益	114	111
親会社株主に帰属する四半期純利益	417	823

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	532	934
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	—
為替換算調整勘定	△80	60
退職給付に係る調整額	5	10
その他の包括利益合計	△88	71
四半期包括利益	444	1,005
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	365	869
非支配株主に係る四半期包括利益	78	136

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて、同感染症の収束時期等を含む仮定の重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,436	866	1,762	5,066	124	5,190	—	5,190
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,436	866	1,762	5,066	124	5,190	—	5,190
セグメント利益	321	164	457	943	13	957	△233	724

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△233百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△233百万円が含まれております。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化学品	機能材料	工業材料	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,401	1,464	1,549	5,415	100	5,516	—	5,516
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,401	1,464	1,549	5,415	100	5,516	—	5,516
セグメント利益	652	285	516	1,454	6	1,461	△211	1,249

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、販売用役等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額△211百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△211百万円が含まれております。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「機能材料」に含まれていた特殊ビスフェノールの一部を「工業材料」に移管しました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、報告セグメント変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。